

築地川アメニティ整備構想

銀座と築地をつなぐ新たなアメニティ空間の創出について

令和元年9月 中央区



築地川アメニティ整備構想とは

1964年東京オリンピックの開催を契機に、かつての築地川を埋め立て都市の基盤整備を図った首都高速道路都心環状線の築地川区間において、東京2020大会を迎えようとする今日、自然豊かで、区民一人一人の快適で多様なライフスタイルを支える次代に相応しい都市のアメニティ空間の創出に向け、区の方考え方を示したものです。

首都高速道路都心環状線（築地川区間）の大規模更新の必要性

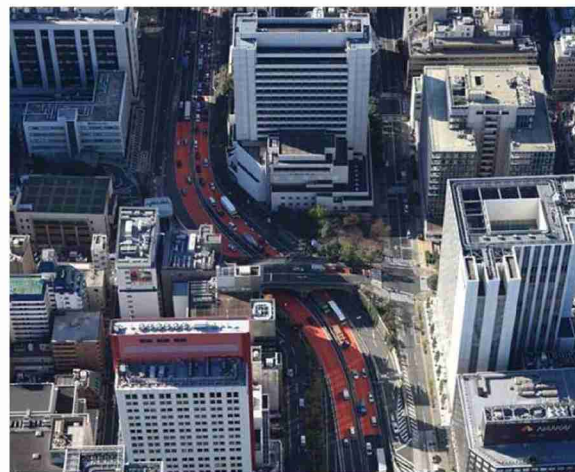
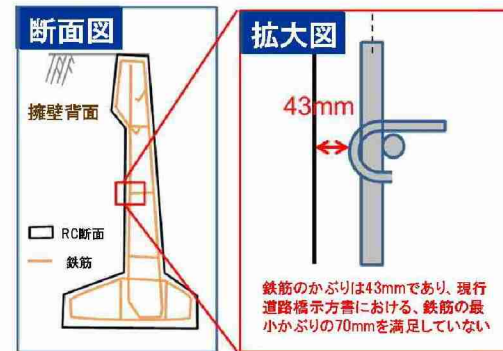
- ・1964年東京オリンピックの開催を契機に築地川の埋め立てにより整備され、建設後57年が経過しており、大規模更新が必要
- ・古い基準で建設されているため強度が不足しており、巨大地震時には擁壁損傷による第三者被害発生の可能性
- ・大規模更新にあわせ、急カーブ解消など、走行安全性を向上するための走行空間を確保
- ・首都高速の更新を契機に周辺のまちづくりと連携した都市再生を推進

【都心環状線（築地川区間）概要】

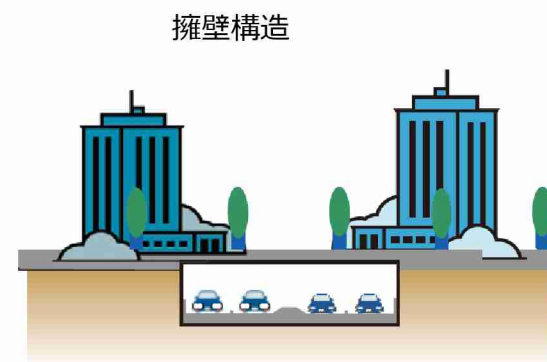
供用年：昭和37年（1962年）
 構造形式：半地下構造（逆T型擁壁等）
 延長：約1,500m
 幅員構成：3.25m×4車線



コンクリートの剥離・鉄筋腐食



築地川区間 急カーブ



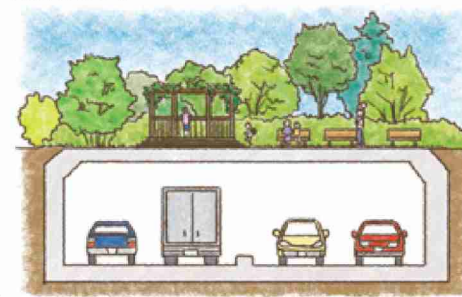
築地川区間におけるまちづくりとの連携を検討
 上部空間の活用イメージ（都心環状線の掘削区間）

出典：中期経営計画2018-2020（平成30年4月 首都高グループ）、
 首都高速道路 首都高速道路の更新計画について
 （平成26年6月25日 国土交通省 社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会 資料）

中央区を取り巻く環境

- ・東京2020大会を契機として特に外国人旅行者の増加が見込まれており、本区を訪れる全ての人々が、安心して快適に買い物や飲食が楽しめる、にぎわいを創出するまちづくりの推進が必要
- ・有形・無形の歴史的遺産を活用した国際都市東京の中心にふさわしい魅力的な都市機能と景観が融合した、風格ある街の形成が必要
- ・近年、区内人口の増加に伴い、区民一人当たりの公園面積は、減少傾向が続いており、新たな土地の確保が難しい本区においては、開発事業等に合わせた公園の拡充が必要
- ・近年都市部ではヒートアイランド現象などの進行により、熱中症等の健康被害が懸念されている中、ヒートアイランド現象を緩和し、緑豊かで快適な都心を実現するため、公園等のまとまった緑の形成が必要
- ・都は、平成31年3月に築地のまちづくりの将来像や方向性、進め方を示した「築地まちづくり方針」を策定
 内容としては、「浜離宮恩賜庭園や銀座、隅田川、そして食文化など、魅力的な資源を有する地域のポテンシャルを生かしつつ、新たな東京ブランドを創出・発信する「創発MICE」機能を持つ国際的な交流拠点の形成」などを将来像に掲げている

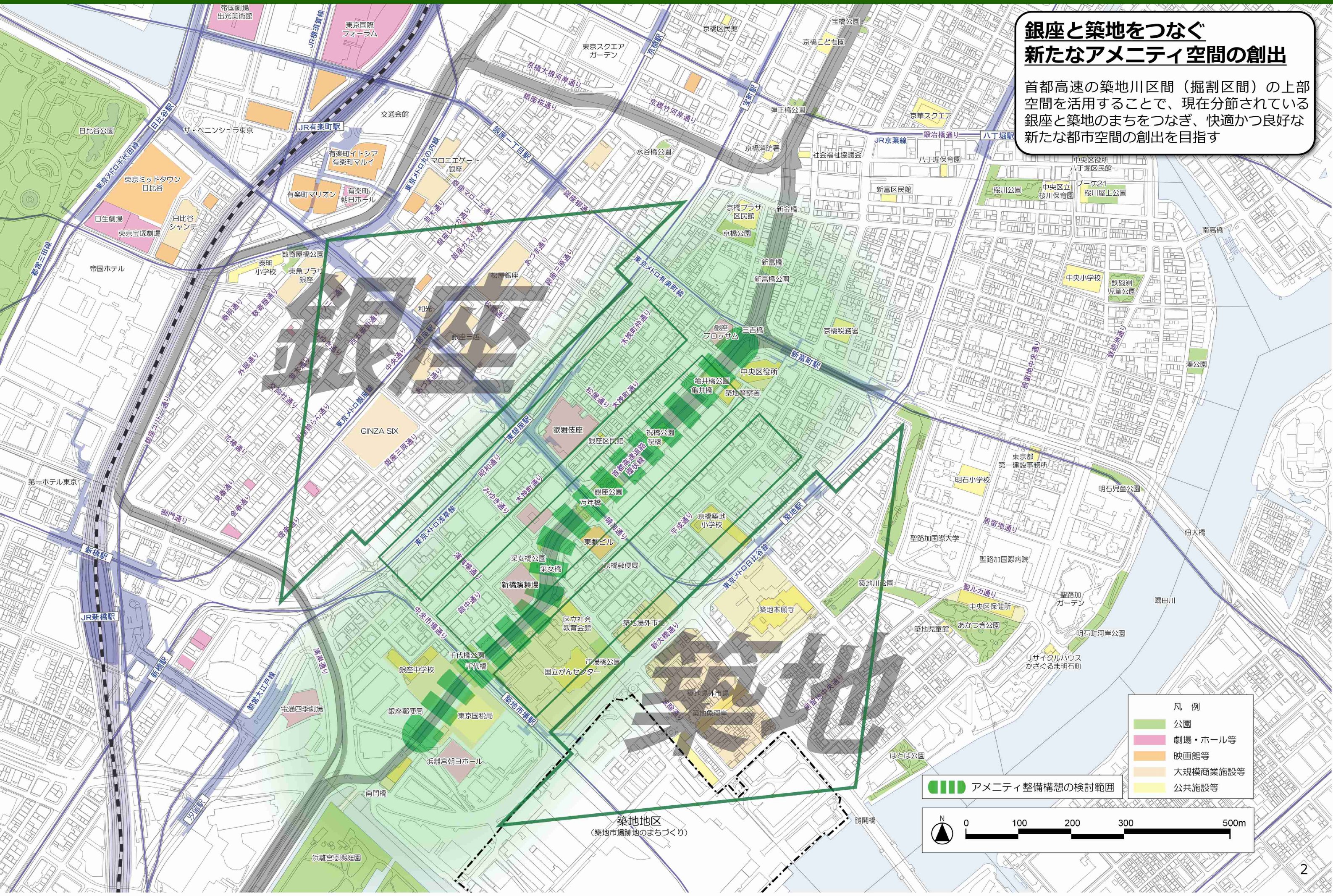
首都高上部空間を活用した緑づくり
 首都高速道路を蓋掛けした上部空間について、憩いとにぎわいの場となる緑による空間整備を検討します。



地域別主要な緑の配置図（京橋地域） 出典：緑の基本計画（平成31年3月 中央区）

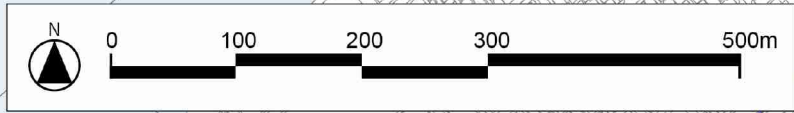
銀座と築地をつなぐ 新たなアメニティ空間の創出

首都高速の築地川区間（掘割区間）の上部空間を活用することで、現在分節されている銀座と築地のまちをつなぎ、快適かつ良好な新たな都市空間の創出を目指す



- 凡 例
- 公園
 - 劇場・ホール等
 - 映画館等
 - 大規模商業施設等
 - 公共施設等

アメニティ整備構想の検討範囲



築地地区
(築地市場跡地のまちづくり)

全体コンセプト：国際性豊かで多様なライフスタイルを支えるアメニティ空間の創出

緑化空間

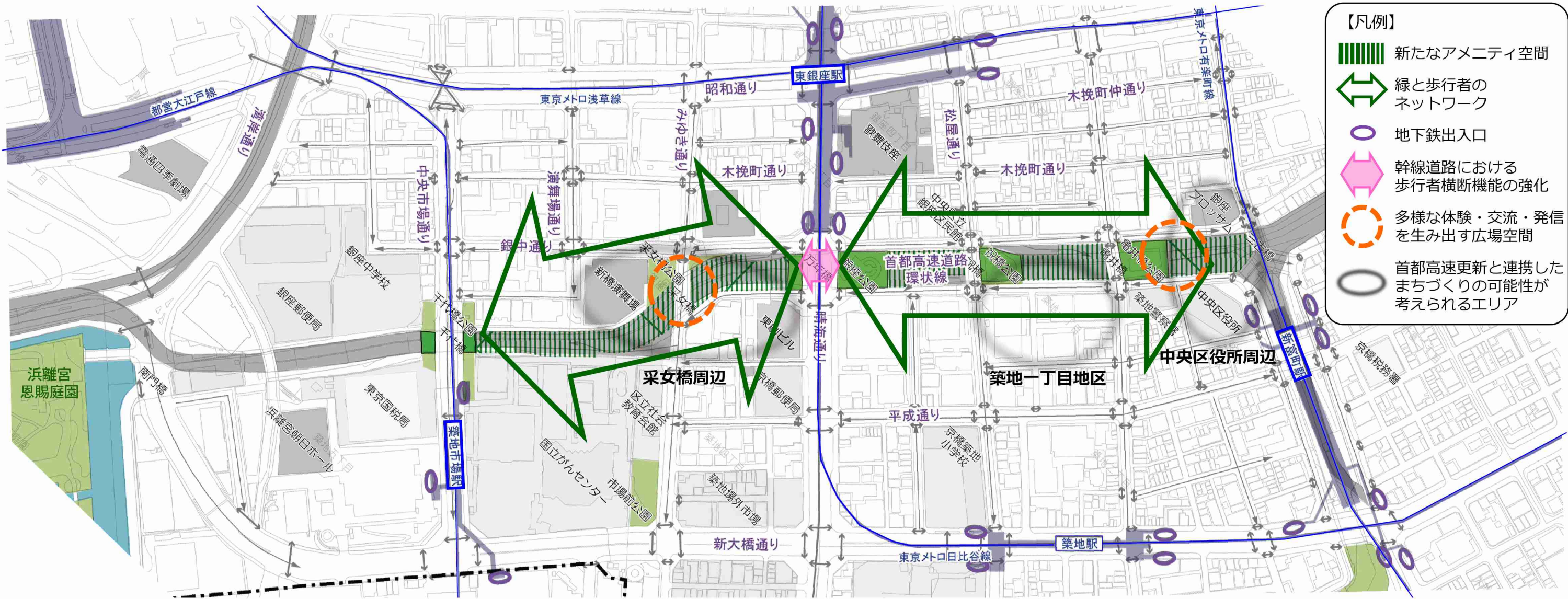
- 多様化する緑・公園のニーズに対応した新たな緑のアメニティ空間の創出
- かつての築地川の記憶を継承した自然と触れ合える水と緑のネットワークの形成

回遊動線、結節空間

- 銀座、築地のまちを一体的につなぐとともに、快適かつ良好な歩行者の回遊動線を形成
- 地下鉄駅間の人の流れを強化するとともに、自動車交通量の多い幹線道路（晴海通り）の歩行者横断機能を強化

憩い・にぎわい空間

- 回遊動線に沿ってベンチや芝生などを適切に配置し、憩い・滞留できる快適な空間の創出
- 一定規模の広がりある空間形成が見込まれる場所では、多様な体験・交流・発信を生み出し、にぎわいを創出



【凡例】

- 新たなアメニティ空間
- 緑と歩行者のネットワーク
- 地下鉄出入口
- 幹線道路における歩行者横断機能の強化
- 多様な体験・交流・発信を生み出す広場空間
- 首都高速更新と連携したまちづくりの可能性が考えられるエリア

首都高速の更新と連携したまちづくりの可能性が考えられるエリア

- エリア1：中央区役所周辺 …… 老朽化した庁舎の建替えが必要で、次代の公共施設の在り方を検討しているエリア
- エリア2：築地一丁目地区 …… 複数棟の老朽化した建物が存在し、まちづくりを検討しているエリア
- エリア3：采女橋周辺 …… 複数棟の老朽化した建物の存在や、首都高速の急カーブの解消等、まちづくりの課題があるエリア

全体コンセプト：国際性豊かで多様なライフスタイルを支えるアメニティ空間の創出

① 緑の量的拡大と質的向上

- ・中央区を代表する緑豊かで自然を感じる“都心に開かれた新たな緑化空間”
- ・浜離宮恩賜庭園など周辺の緑とつながり、かつての築地川の記憶を継承した四季の移ろいを感じる“水と緑のネットワーク”
- ・小鳥や昆虫など多様な生物の生息環境を整え、ヒートアイランド現象への対応など都市環境の改善を図る“環境配慮型の都市空間”



※イメージ図



都心に開かれた緑化空間のイメージ

② 新たな人の流れを生み出す回遊動線

- ・銀座、築地のまちを一体的につなぎ、にぎわいと緑が織りなす“都市の顔となるストリート”
- ・東銀座駅、新富町駅、築地市場駅の地下鉄駅間の人の流れをつくり、新たな回遊を生み出す“交通結節性の高い歩行者ネットワーク”



※イメージ図



にぎわいと緑が織りなす回遊空間のイメージ

全体コンセプト：国際性豊かで多様なライフスタイルを支えるアメニティ空間の創出

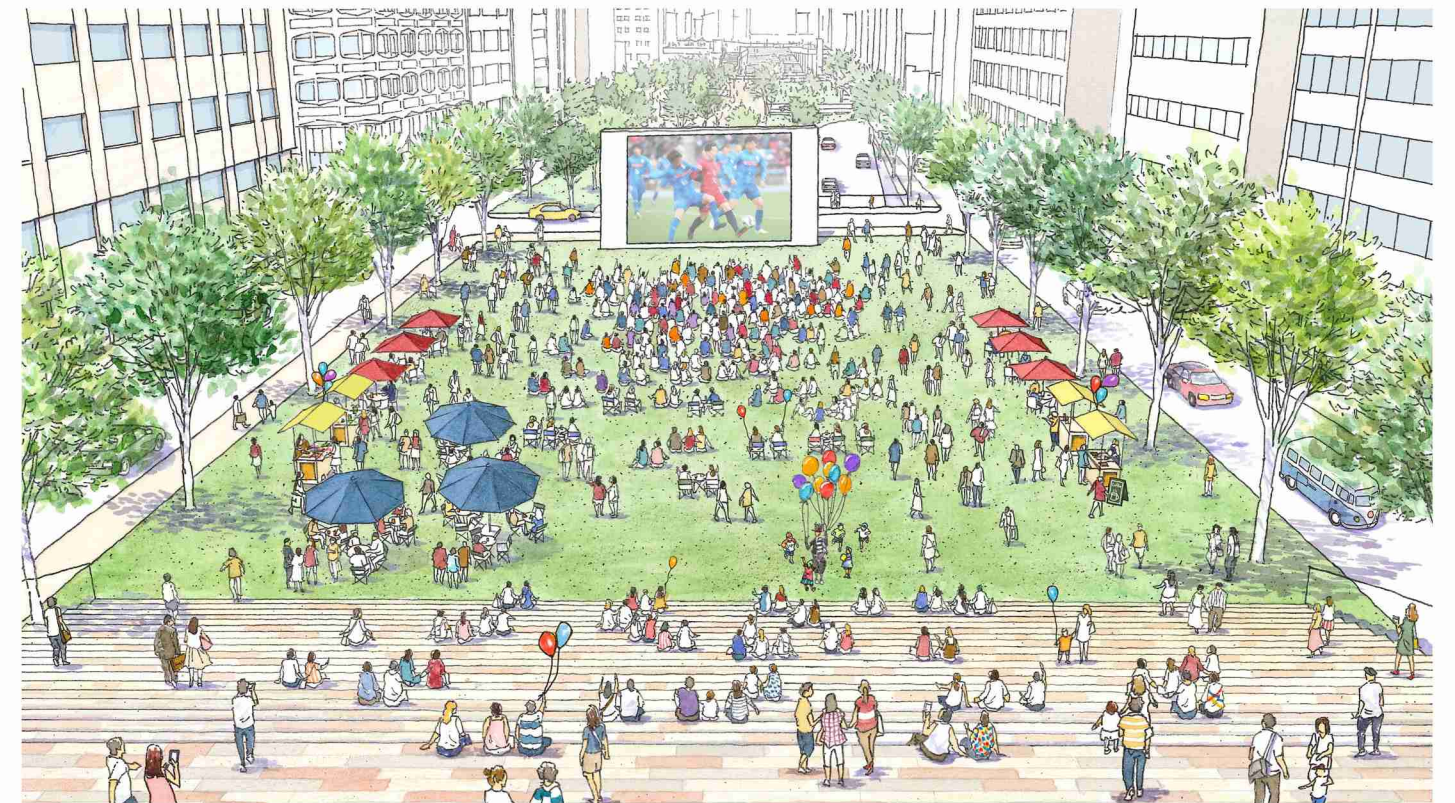
③安全・安心で健康的な暮らしを支える憩いの空間、文化発信力の高いパブリックスペース

- ・誰もが、快適で質の高い、健康的なライフスタイルを過ごすことができる“都市生活を支えるアメニティ環境”
- ・大規模災害時において、一時避難場所になるなど“安全・安心な暮らしを支える防災活動拠点”

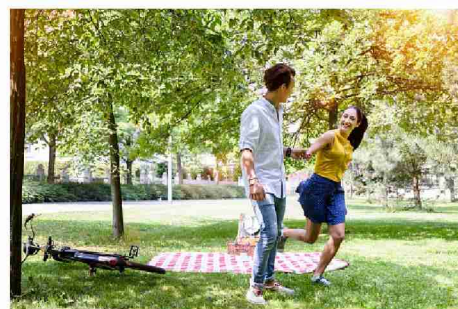
- ・銀座・築地の地域特性を活かしたイベント展開など、年間を通じて大小様々なイベントが行われる“誰もが体験・交流・発信できるパブリックスペース”



※イメージ図



※イメージ図



快適で質の高いライフスタイルのイメージ



誰もが体験・交流・発信できるパブリックスペースのイメージ

実現に向けた検討課題

本構想の実現には、多くの課題を解決する必要があります。さらに、首都高速都心環状線は、首都圏の社会・経済活動を支える大動脈として重要な役割を担っていることから、交通機能を阻害せず、交通渋滞を極力発生させない工夫等が本構想には求められており、関係機関との協議調整には多くの時間が必要となります。

今後は、関係機関と協議を進め、次に示す課題の解決に向けた検討を進めます。

- ・首都高速都心環状線の大規模更新と上部空間の整備方法
- ・首都高速都心環状線の大規模更新計画等と周辺まちづくりとの連携
- ・事業スキーム
- ・首都高速の上部空間の適切な維持・管理方法

今後の進め方

本構想の実現には、前述に示す課題の解決に向け、関係機関と綿密に連携し、検討を進めていく必要があります。

現在、首都高速都心環状線の大規模更新計画や、首都高日本橋地下化と関連した環状機能の確保に向けた検討などが進められており、これらの動向も注視しながら、本構想の検討を深めていきます。

さらに、周辺のまちづくりと連携して進めていくことが重要であることから、関係者間の調整を図り、一体的なまちづくりを推進していきます。